



虹だより



特別養護老人ホーム

峰林荘

「峰林荘」の新しい看板です！！



入居者の皆さんと新しい看板の前で笑顔の記念撮影です。

「新しい看板できたのかい」「いいのができたね～」

皆さんの感想をいただきました。

左から海老原さん、倉本さん、橋本さん、竹尾さん、池内さん

峰林荘の玄関と館内にある地域交流ホールに立派な看板が設置されました。この看板は清水忠晃さん（守谷市薬師台）の寄付によるものです。

看板の作者は、清水さんと交流のある常総市にお住まいの日本刻字協会作家の片岡美津代さんです。

この看板の素材は「桂（かつら）の木」です。「桂」には「繁栄」という意味があり、「地域介護のお役に立てる峰林荘であり続けるように」という清水さんの思いの詰まった看板です。



片岡美津代さん（左） 清水忠晃さん

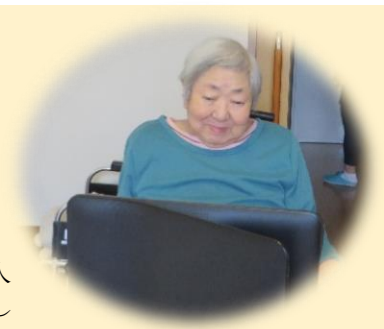
「オンラインによる面会」

新型コロナウイルス感染予防対策

入居者と家族が「Zoom」というアプリを利用した「オンラインによる面会」ができるようになりました。峰林荘として初めての試みです。

最初はビデオ通話に戸惑っていましたが、画面の向こうには娘さん、娘さんのご主人やお孫さん、ペットの猫ちゃんまで！！「テレビ電話、すごいね～」「みんなの顔を久しぶりに見て嬉しいよ」など、とても喜んでくださいました。遠方のご家族だけでなく、面会制限のある小さいお子さんとの面会などにもご利用ください。オンライン面会は予約が必要です。お気軽にお申込みください。

7月1日から面会が一部解除になりました。



テレビと同じように画面に映るパソコン内の家族の姿をじっと見つめながら話す清水さん

峰林荘のナイスショット！



スクラッチアートの作品



作品作りに励むユニット棟の古谷さん

楽しい時間の名人！ スクラッチアート

いろんなことにチャレンジする古谷節子さん。現在は、「スクラッチアート」に取り組んでいます。スクラッチアートとは、黒い用紙の下に様々な色が隠れており、ペンなどを用いて削る事で美しい絵が浮かび上がるという削って作る作品です。楽しい時間を自分見つける名人の古谷さんの作品はユニットのリビングに飾っています。

「次は何をやろうかな～塗り絵もいいね」と常に前向きの古谷さんです。

峰林荘の一番人気の献立は お刺身！

お昼ごはんを楽しむ出津さん。
この日の献立は、お刺身です。
「刺身」は峰林荘で一番人気の献立です。
ちなみに2番目は「天ぷら」、3番目は
「ハンバーグ」が人気トップスリーです。
しっかり食べることが健康の秘訣！

「写真とるの？
お刺身は美味し
いよね」と言い
ながら笑顔を
パチリ。



大好物のお刺身に笑顔の出津さん

華道クラブ「ゆうづき」の二人

月に一度、希望者が生け花を楽しんでいます。

キレイなお花を眺めて、季節を感じて自分で水盤にお花を活けます。この日の花材は、ソケイやスプレー菊などを使いました。活けたお花は、自分の部屋に飾ります。

いい感じのお花ができて、見ている方もいい気分～

日頃はボランティアの中島先生に講師をお願いしていますが、コロナ感染症対策で3月以降は職員が生け花講師の代理を務めています。

「どの先生もやさしい。
今月もお花ができて、
うれしいね」と喜んで
いただきました。



見事な出来映えです。堀さん（左）、大橋さん

デイサービスセンター

ゆうゆうケア・ワン



ツイッター始まる！

峰林荘から少し離れた本町にあるデイサービスのゆうゆうケア・ワンがツイッターを始めました。お昼ごはんは何？レクリエーションは何をやるの？ゆうゆうケア・ワンのことをたくさん知ってもらえるよう温かみを感じることができる情報発信をします。スマホをお持ちの方はこちらから

どうぞ →



後部より車椅子が車内に入ります。職員が安全を確認してリフトを操作します。



日本財団の助成で 新車が入りました

待望の送迎用車両が3月に入りました。これまで使用していた車も日本財団から助成を受けて購入し、14年間活躍していましたが、老朽化が進んできていたところ、再度助成を受けることができました。利用者の皆さんから「新車はいいよね」「乗るのが楽しみだ」「新車のおいが気持ちいい」などの声が聞かれました。職員との会話もはずむ車内です。安心安全を第一に大切に活用していきます。

峰林荘のこの頃・・

峰林荘ってどんなところ？ 職場体験

新型コロナウイルス感染予防で、大部分の福祉施設等では施設内への立ち入りを制限しています。これから先も、どうなってしまうのだろうと不安だらけのところ、新たな不安がまた一つ・・・

昨年、4人の中学生を職場体験で受け入れました。その体験で、峰林荘で生活している高齢者とたくさんの交流が生まれました。このような体験を通して、福祉に目を向けてくれる生徒が一人でも多くなることを願って、施設では受け入れをしています。

この春休みには高校生の受け入れの予定も中止になりました。夏休みはどうだろうか。その小さなきっかけも、新型コロナウイルスのために無くなってしまいそうです。これまで多くの施設には、たくさんのボランティアが活動していました。自由に活動できるような世の中に「早くなあ～れ」。



職場体験に来たけやき台中学校（当時2年生）の矢島七恵さん（右奥）と福田佳子さん

もしものに備えて！ 総合避難訓練

守谷消防署の指導の下、地元消防団、地域住民、職員が参加して夜間に発生した火災を想定した避難訓練を昨年の11月に行いました。駆けつける地域住民と職員は、避難する入居者を施設の外で引き継いで安全な場所に誘導する役割です。地域の方より「車椅子操作の練習もしたい。」という声があり、操作説明を追加しました。

職員の緊急連絡網では、「緊張するね」と言いながら、いざという時に慌てない様に訓練をすることができました。



火災設備機器の説明を聞く
当直職員の松本さん（真ん中）と寺田さん（左）

福祉機器を入れ替えて快適に～

峰林荘では福祉機器の入れ替えを定期的に行っています。例えば車椅子も長く使用していると、シートが傷んで座り心地が悪くなったり、部品の動きが悪くなったりします。

福祉機器類も日々改良され、入れ替えにより、より快適に利用でき、利用者の負担も少なくなります。

今回は車椅子、歩行器、介助バー、センサーマット徘徊コールマットを入れ替えました。

「利用者に合わせて調整できるこの車椅子は使いやすい！」と介護職員からも好評です。



背もたれが大きく動く車椅子（左）。より移動が楽になった歩行器

7月1日から家族面会を一部解除！

職員は出勤前に自宅で検温をしてから出勤し、出勤後も検温と体調を記録してから勤務します。マスクは常時着用し施設内の消毒を1回以上実施しています。

3月より感染予防対策により家族の面会中止やボランティア等外部の方の施設内への立ち入りを禁止にしていました。緊急事態宣言の解除と茨城版コロナ Next（コロナ対策指針）が stage 1（感染が抑制出来ている状態）になったことから、7月1日から家族の面会を一部解除しました。面会場所の限定や最小人数での来荘と短時間の面会などをお願いしたうえでの面会になります。

面会は予約制ですので、ご希望の方は電話でお問い合わせください。感染状況をみながら、ボランティアや実習生の受入れの再開の対応をしていきます。感染状況により対応が変わることもありますので、ご注意ください。

ご不明のことは峰林荘までお問い合わせください。

（7月3日現在）



えっ！なに？

新型コロナウイルスの終息を願って玄関を入ったところに「魔除けひょうたん」を飾りました。

峰林荘の嘱託医と機能訓練指導員

峰林荘嘱託医 城賀本満登医師



協力医療機関である総合守谷第一病院より峰林荘の入居者の嘱託医として、城賀本医師が往診に来て、優しい笑顔で健康管理をしています。

感染症の施設対応等も医務や介護職員と相談しながら決めています。コロナウィルスの対応も含めてとても心強いです。

理学療法士 関口春美先生



普段はアール医療福祉専門学校理学療法学科で学生に教えています。

月に数回ですが、峰林荘の入居者の機能訓練の指導をしています。現状維持と入居者本人の運動能力を引き出すだけでなく、介護職員にリハビリのアドバイスをしています。

新しい仲間 (職員)が入りました

介護 松井 有美
山中 昌利
川口 厚子
宮本香代子
事務 内田 千代
調理 三富恵美子
小野寺悦子
管理栄養士 増田かおり
(令和元年9月から令和2年4月まで)

活動に感謝します ボランティア活動

(敬称略)
伊奈ぼらんぺ(シーツ交換)、社会福祉協議会大野支部(シーツ交換)、傾聴ボランティアジャスミン(傾聴)、横瀬典幸(草処分)、原田幸子(車イス清掃)、中島春野(生花講師)、小笠原千亜紀(敬老会民謡ショー)、ボランティア守谷レスキュー(非常用発電機)、大野絵手紙クラブ(作品展示)
(令和元年9月から令和2年6月まで)

ご寄付 ~ありがとうございます~ (敬称略)

<寄付金>
伯耆田守夫、遠藤栄治、宮川卦一、村田静夫、柳生進、安孫子悟、長谷川禮子、横瀬さき
<品物>
アサヒ飲料販売(非常用水)、清水忠晃(看板)、守谷ライオンズクラブ(除菌水)
タオル、野菜等のご寄付もたくさんいただきました。
(令和元年9月から令和2年6月まで)

管理栄養士って？

管理栄養士を施設に配置することで、入居者の栄養面の改善を計画的にサポートすることができます。お身体に疾患がある方は、治療の直接手段として嘱託医の発行する食事箋に基づき療養食を提供します。(心臓病食、腎臓病食、糖尿病食など)

また、年齢とともに飲み込みが困難になって口から食べることが難しくなってきた(摂食機能障害がある)方でも、自分の口から食べることを長く楽しんでいただくため、多職種と連携をして支えています。



増田管理栄養士

「峰林荘 夏まつり」 中止します

地域に皆様や関係者の皆様のご協力により、毎年8月に開催していました「峰林荘 夏まつり」は、**新型コロナウイルス感染症予防のため、中止にします。**

社会福祉法人 峰林会

ホームページ <http://hourinkai.com>

- | | | |
|----------------|-----------|-------------|
| □ 特別養護老人ホーム峰林荘 | ☎ 48-3587 | Fax 48-3566 |
| □ 峰林荘通所介護事業所 | ☎ 44-4399 | Fax 44-4411 |
| □ 短期入所生活介護事業所 | ☎ 48-3587 | Fax 48-3566 |
| □ すずらん訪問介護事業所 | ☎ 48-3587 | Fax 48-3566 |
| □ あかり居宅介護支援事業所 | ☎ 44-9030 | Fax 21-3338 |
| □ ゆうゆうケア・ワン | ☎ 20-0222 | Fax 20-0117 |

